

製品の機能が十分発揮されるようにこの施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 安全のために必ずお守りください

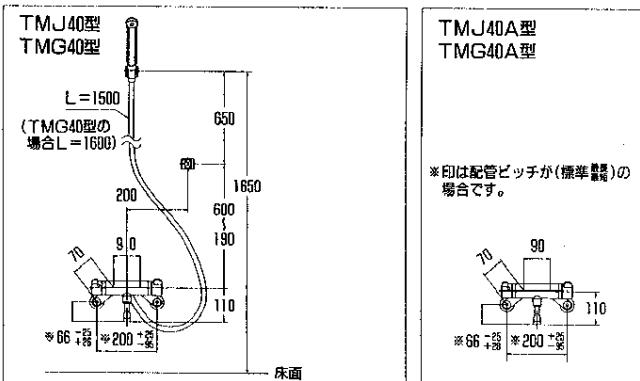
- 取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

- △ 注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

### △ 注意

- 湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。  
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

## 完成図



\*品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

## 使用条件

### 1. 使用水圧

#### (1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力  $\left\{ \begin{array}{l} \text{最低必要水圧} \cdots (\text{下表参照}) \\ \text{最高圧力} \cdots 0.75 \text{ MPa} \end{array} \right.$

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数		最 低 必 要 水 圧		
		普通シャワー	マッサージ	ソフト
能力手動切替タイプ	12号	A+0.22	A+0.25	A+0.26
TOTO カスタム 制御方式	10号	0.12	—	—
	16号		0.18	0.22
	20号		0.17	0.21
比例 制 御 タ イ ブ	16号	0.11	0.16	0.20
	20号		—	—
	24号		0.19	—
	アクティ		—	—
	スパー・アクティ		0.15	0.18
TOTO ハイトリコン 制御方式	32号	0.10	—	—
	21号		0.11	0.19
	24号		—	—
TOTO コマンド	16号	0.12	0.18	0.22
	24号		0.10	—
	21号		0.11	0.15
	24号		—	0.19
TOTO ハイコマンド	16号	0.12	—	—
	24号		—	—

注) 表記のAは給湯機の最低作動水圧を示します。(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)  
(設定条件)

- 切替ハンドル全開
- シャワー吐水温度: 42°C
- 給湯配管長さ: 5m

#### a) 能力手動切替タイプの場合

- 給湯機温度調節は最高温に設定
- 水温の高い(25°C) 夏期に着火させることを想定  
※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

#### b) 比例制御タイプの場合

- 給湯温度は60°Cに設定

● 水温の低い(5°C) 冬期に約7L/min (マッサージは8L/min, ソフトは10L/min) の吐水流量を確保するのに必要な圧力をとする。

② 駐湯式給湯機と組合せる場合

給水・給湯圧力  $\left\{ \begin{array}{l} \text{最低必要水圧} \cdots 0.05 \text{ MPa} \\ \text{最高圧力} \cdots 0.75 \text{ MPa} \end{array} \right.$

※給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

ただし、駐湯圧力は給水圧力より高くならないよう設定してください。

2. 駐湯温度は使用する温度より10°C以上高くしてください。

3. 駐湯に蒸気を使用しないでください。

4. 湯・水を逆配管しないでください。

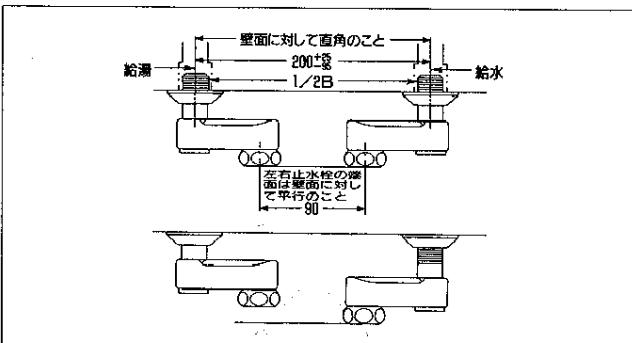
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。  
配管後は必ず保温材を巻いてください。

## 器具の取付け

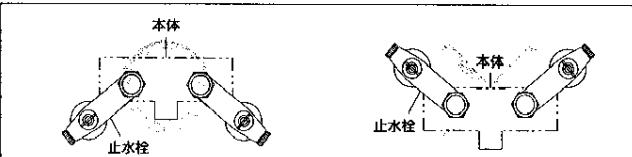
### 1. 給水管内の清掃

器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

### 2. 止水栓の取付け



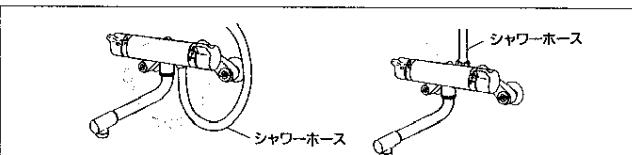
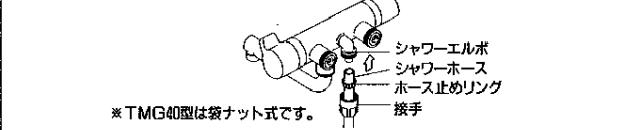
※寒冷地用の場合は、止水栓の取付位置が本体よりも上になると水抜きができませんので、必ず下になるように取付けてください。



### 3. シャワーホースの取付け (シャワーフィ一样の場合)

本体を止水栓に接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。シャワーホースは止水栓の下から取り出してください。寒冷地用の場合は止水栓の上から取り出すと水抜きができなくなります。

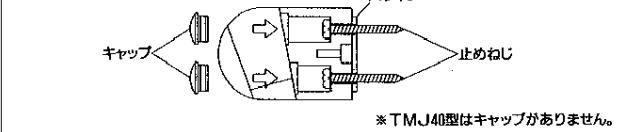
#### TMJ40型の場合



### 4. シャワーハンガー取付要領

キャップ(シャワーヘッド回転防止ゴム)は、ねじ穴に確実に押込んでください。

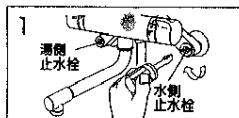
#### TMG40型の場合



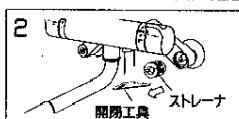
## 取付後の調整

### 1.ストレーナの掃除

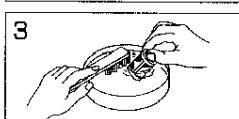
ストレーナが詰ると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。



マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を開めてください。



開閉工具を溝に差込み、ストレーナをゆるめて取出してください。



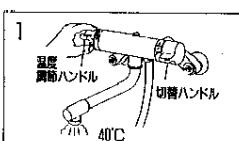
ストレーナの網目に詰ったごみをブラシなどで取除いてください。

### 2.温度調節

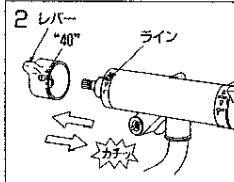
工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって自盛どおりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

調節する前に次のことを確かめてください。

- 止水栓は全開になっているか。 ●ストレーナのごみづまりはないか。
- 常用給湯温度（50°C以上）の湯がきているか。



切替ハンドルを回してカランより吐水させ、温度調節ハンドルを自盛に関係なく40°Cの湯が出る位置まで回してください。



温度調節ハンドルが回らないように注意して温度調節ハンドルを抜きとってください。  
※ハンドルははめ込式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、レバーを傷が付かないように軽くたたいてください。  
自盛の“40”的文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。

## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1.ふだんは柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。

2.クレンザー・みがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。

3.酸性洗剤はめっきを侵すため使用しないこと。もれタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

## 寒冷地用の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けてあります。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

(水抜手順)

(1)切替ハンドルをカラン側に回す。

(2)水抜コックすべてを開く。

(3)温度調節ハンドルを“H”側いっぱいに回し、カランから水が出なくなつてからさらにハンドルを“C”側いっぱいに回す。

シャワー金具の場合はさらに次の操作をしてください。

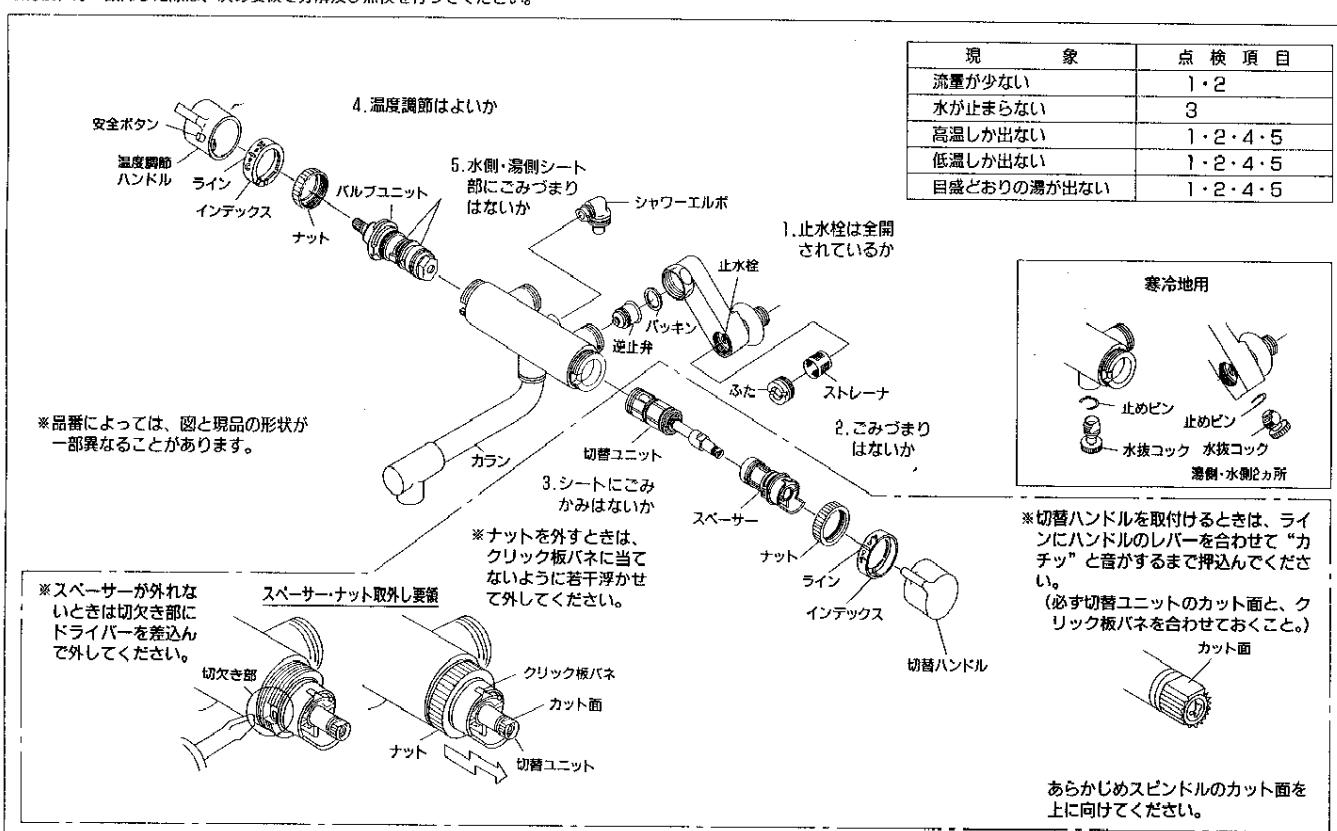
(4)カランから水が出なくなつたら切替ハンドルをシャワー側に回す。

(5)ホースの水を抜き、シャワーヘッドを振って中の水を抜いてから床におく。

## 分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

現象	点検項目
流量が少ない	1・2
水が止まらない	3
高温しか出ない	1・2・4・5
低温しか出ない	1・2・4・5
自盛どおりの湯が出ない	1・2・4・5



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。再生紙を使用しています。

※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡しができない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。